



なぜ自分にはしてほしくないのに、  
親、兄弟、夫、妻には  
延命治療を希望するのでしょうか？

本人の意思と関係のない延命処置により、平穏な最期を迎えられない人が増えています。

人生の最期をどう過ごすか、現在も看取りに携わる医師でベストセラー作家の講師が事例を元にわかりやすくお話します。

これから親、兄弟、夫、妻を看取る世代の皆様にごぜひお聞きいただきたい内容です。

## 講演：『平穏死を受け入れるレッスン』

自分はしてほしくないのに、なぜ親、兄弟、夫、妻に延命治療をするのですか？

講師：石飛 幸三 先生

東京都世田谷区特別養護老人ホーム芦花ホーム 常勤医

日本有数の血管外科医として国内外で活躍し、2005年から現職。「老衰という自然の摂理に

医療行為がどこまで必要か」を問い続け、その人らしいかたちで迎える死「平穏死」を提唱。大きな反響を呼ぶ。

2010年発行の「『平穏死』のすすめ 口から食べられなくなったらどうしますか」（講談社文庫）がベストセラーとなる。「平穏死という生き方」（幻冬舎）、「平穏死を受け入れるレッスン」（誠文堂新光社）など著書多数。NHKスペシャル「老衰死」穏やかな最期を迎えるには などテレビ出演も多数

劇：「知ってください、本当に自宅の畳の上で看取られるためには」

村上地域での在宅看取りに関する実態を劇形式でお伝えします。

日時：平成 29 年 12 月 3 日（日）

午後 1 時 30 分～4 時（受付は午後 1 時から）

会場：村上市民ふれあいセンター 多目的ホール

問い合わせ：村上地域在宅医療推進センター 0254-52-4666

主催：村上地域在宅医療推進センター 村上市 関川村 粟島浦村 村上地域振興局健康福祉部

共催：村上市岩船郡医師会 村上市岩船郡歯科医師会 村上市岩船郡薬剤師会 新潟県看護協会村上支部

入場  
無料

申込  
不要